

第324回 山口西田読書会 (2023年3月4日開催分) プロトコル

小嶋 久之

1. テキスト

「場所」四 263頁 5行目「事実的判断は論理的に矛盾なく否定し・・・」から
265頁 3行目「・・・逆に内面的なる意志の連続に過ぎない。」まで

2. キーワードないしキーセンテンスと考察ないし問い

キーセンテンス ※読書範囲の最終センテンス

意識するということは、無の場所に映すことであり、
この場所から見れば内面的なる意志の連続に過ぎない。

問 い

佐野先生が純粹経験の世界と解説をされている箇所になりますが、下記の疑問を持ちました。

①意識すること、または、内面的なる意志は、小嶋の考えでは、ランダムに生じると考えており、連続するとは限らないと考えています。また、連続するほど頻繁に生じることなのでしょうか。

②内面的なる意志は、「過ぎない」と言われるほど価値が低いことなのでしょうか。